

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	地域医療を考えるための医療連携強化事業		担当部署	健康福祉部 健康づくり課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり	事業期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと		終期	未定
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	4	医療の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	医療は限りある資源であることを市民が認識し、地域医療を守るために一人ひとりの市民がしなければならないことを認識することができる。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		連携事業の参加者数	342	350	350	350	350	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴門病院と連携をして、市民向け実践講座を開催した。また、理学療法士が地域に出向いて行き地域で健康教室を開催した。 さらに、地域医療について市民が考える機会を持つことができるよう、広報誌等で啓発した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	理学療法士による健康教室の開催回数	8	8	10	10	10	回
	2	地域医療に関する講演会	1	1	1	1	1	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	連携事業の参加者数		342	378	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			108.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)		750	145	301	301	301	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	435	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	315	145	301	301	301	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	652	652	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		1,402	797	953	953	953	千円

【事務事業名: 地域医療を考えるための医療連携強化事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	長寿介護課と協議をし、地域において鳴門病院の理学療法士による健康教室を開催する。鳴門病院との連携事業において、市民向けの実践講座を開催する。小児救急ハンドブックの増刷を行い、出生時に配布することによってコンビニ受診の抑制を図る。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8  /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策「健康・医療対策の推進」の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	6  /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。	
<input type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
6  /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	条例を制定するため、市民の意見を聴取するためのワークショップを実施するが、市民の積極的な参加が得られるような工夫が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか	<input style="width: 100%;" type="text"/>			